



未来にツケを残さない
政治を目指します!!

練馬区議会議員 / 無所属2期

井上 勇一郎

練馬会議幹事長 都市整備委員会副委員長

ムダを徹底削除、財政改革は急務!

練馬区においては高齢者人口が22%を超える超高齢化の自治体であることに加え、小中学校の校舎などを含む区立施設の老朽化、福祉、生活保護、子育て教育費などの扶助費や医療費の増大、震災や豪雨などから区民を守る防災対策の充実、それに加え新型コロナ対策など課題が山積しており、また我が国の経済状況もロシアによるウクライナ侵攻を起因とする資源価格の高騰をはじめ物価上昇や過度な円高などによる景気の下振れによる歳入減のリスクなど、区財政を取り巻く環境は一層厳しさを増しているのが現状です。

区においても不要な事業を見直すだけでなく、必要な事業の中でどれを優先させていくか「あれもこれも」から「あれかこれか」と、予算の聖域を作ることなく徹底した財政改革が求められています。最小の予算で最大の効果を生む「費用対効果」を追求し、ダメなものとはっきりメッセージを出し、将来の子供たちに今の政治のツケを残すことのない政治の実現を目指していくことが、これからの政治家に課せられる至上命令であると考えております。

引き続き財政の安定化、福祉教育医療の充実、未来に負の遺産を残すことのない、責任ある政治の実現を目指してまいります。

順天堂練馬病院 3次救急診療を開始!

令和4年10月1日より練馬区の悲願であった順天堂練馬病院での3次救急患者の試験的受入が開始されました。これまで区内で発生する年間1,000名を超える3次救急患者は全て区外の病院に搬送されていましたが、この度の順天堂練馬病院の受け入れ開始により、最大の課題であった搬送時間の大幅な時間短縮が期待できる事となり、救命率の向上が期待されます。

なおお近では1日平均約3.9件の3次救急患者の受け入れを行っており、試行期間を経て、救命救急センターとして指定される予定となります。3次救急病院の指定については私たちも会派も都に対して求めていく旨区に要望しておりましたが、それだけではなく、今後増築を含めたさらなる病床の拡充、災害対応力の強化など病院機能の充実併せて病院までのバスルートアクセス向上など交通網の充実も求めてまいります。

井上 勇一郎 事務所のご案内

〒176-0022 東京都練馬区向山3-1-32 [TEL]03-3926-7146 [FAX]03-5848-2822

【討議資料】【編集発行】練馬会議 【頒布責任者】柴 伸哉



震災危機に備え、防災対策強化を推進!

ここがポイント!

消防・防災に長年携わってきたからできること

令和4年5月に首都直下地震等による東京の被害想定が10年ぶりに見直されました。それによると、練馬区で予測される被害の想定は、区内面積の42.6%が震度6弱から6強と広範囲にわたり揺れが大きくなると修正されました。また、地震による出火件数が12件から28件と133%増となりましたが、それ以上に大きな数字となったのは焼失棟数が3,106棟から11,004棟と実に254%の増となる事が報告されました。

この件について委員会で質疑しましたが、詳細としては28件の火災について初期消火する事が出来ず、結果として火災クラスターにより11,004棟もの建物が焼失するとの予測であることが明らかになり、この結果はこのような震災を起因とする同時多発火災に対しては常備消防(東京消防庁)の消防力だけで延焼防止することは限界がある事、またこのような火災に十分対応できるだけの消防力の整備は困難であることから、改めて消防団をはじめとした地域防災力の重要性が改めて認識される形となりました。※下記「多摩東部直下地震による練馬区の被害想定図」参照

	発生時間帯	平成24年		令和4年		増減	
		多摩直下地震	多摩東部直下地震	数値	割合	数値	割合
震度面積率	震度5強以下	—	0.0%	0.0%	—	—	—
	震度6弱	—	98.3%	55.7%	—	42.6%減	
	震度6強	—	1.7%	44.3%	—	42.6%増	
	震度7	—	0.0%	0.0%	—	—	
建物全壊棟数	—	2,611棟	2,493棟	-118	5%減		
火災	出火件数	夕方	12件	28件	+16	133%増	
	焼失棟数	夕方	3,106棟	11,004棟	+7,898	254%増	
死者数	早朝⇒夕方	212人	314人	+102	48%増		
負傷者数	早朝	5,389人	3,792人	-1,597	30%減		
避難者数	夕方	118,245人	129,837人	+11,592	10%増		
帰宅困難者	—	98,294人	43,191人	-55,103	56%減		
ライフライン	電気	停電率	夕方	6.3%	10.9%	—	4.6%増
	電話・インターネット	通信不通率	夕方	2.2%	7.4%	—	5.2%増
	ガス	供給停止率	—	95.3%	32.7%	—	62.6%減
	上水道	断水率	—	28.3%	14.4%	—	13.9%減
	下水道	管き壊害率	—	19.8%	3.9%	—	15.9%減

この報告に対し、私が所属する総合・災害対策特別委員会で、自分たちの町は自分で守る自助共助の取り組みとして地域防災力強化のため区民防災組織などに対し、消火栓から誰でも簡単に直接消火ができるスタンドパイプの配備と併せて、木造密集地域や狭あい道路など迅速的確な消防活動が困難な地域をモデル地区として街頭消火器のように、誰でも使用できる消火用街角スタンドパイプの設置を要望しました。

今後も地域防災力の強化と併せて、迅速的確な消防救助活動ができるだけの幅員を確保する事が出来る災害に強い街づくりなど、区民の生命と財産を守る取り組みを進めてまいります。

「未来にツケを残さない政治」を実現するために

井上 勇一郎が推進する

改革の柱

財政改革

防災改革

医療改革

子育て改革

福祉改革

産業改革

向南幼稚園卒園 ▶ 練馬区立向山小学校卒業 ▶ 練馬区立開進第二中学校卒業、地元練馬育ち

大学卒業後、民間企業を経て小林興起元財務副大臣、木内孝胤衆議院議員の秘書を務め、平成23年練馬区議会議員選挙に初出馬するも3,023票獲得(3,023票52位)もあと38票届かず惜敗。選挙後、松野頼久元内閣官房副長官の秘書として国会事務所に復職。新党の立ち上げに携わり、その後党国会対策委員会職員、党幹事長秘書、党代表秘書、公設秘書及び党秘書会事務局長等を務める。その後今村洋史衆議院議員の公設第一秘書を最後に区議会議員立候補準備のため計7年務めた衆議院議員秘書を退職。平成27年4月、練馬区議会議員選挙に3度目(補選含む)の挑戦で(3,349票35位)初当選。平成31年4月、練馬区議会議員選挙2期目の当選(5,179票12位)現在2期目。

会派役職

幹事長

所属委員会

都市整備委員会 副委員長
総合・災害対策等特別委員会委員 議会運営委員会委員

その他

順天堂大学付属練馬病院運営連絡協議会
消防団運営委員会 練馬消防団 副分団長
青少年育成第三地区委員会 顧問 防衛省自衛官募集相談員

詳しくは、ぜひ一度わたしのホームページをご覧ください。